

令和5年度 学校評価（中間）報告

8月30日(水)、第1回の学校関係者評価委員会を開催しました。資料として、
①児童アンケート ②保護者アンケート ③保護者からのご意見 ④学校職員自己評価
をお示しし、これをもとに学校関係者評価委員の皆さんに中間評価をお願いしました。

『チャレンジ!やればできる!になりたい自分になろう!～笑顔あふれる大屋っ子～』をスローガンに取り組んできた教育活動について、児童と保護者のみなさんからの評価を真摯に受け止め、今後の学校づくりのため、改善に向けての対策を提案させて頂きました。

【児童意識調査の結果】(児童80人：7月上旬実施)

最高値の枠に色づけ

No	質問内容	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	思わない
1	国語の授業がわかる	59%	29%	10%	1%
2	算数の授業がわかる	55%	32%	6%	6%
3	社会の授業がわかる(3～6年生55人)	57%	30%	9%	4%
4	理科の授業がわかる(3～6年生55人)	52%	41%	7%	0%
5	外国語の授業がわかる(5・6年27人)	62%	44%	6%	0%
6	体育の授業は楽しい	81%	14%	4%	1%
7	道徳の授業は好きだ	45%	35%	10%	10%
8	授業では自分の考えをわかりやすく書いたり話したりできた	60%	26%	9%	5%
9	ひらめきボードは役に立っている	64%	19%	13%	4%
10	友達の考えを聞いてわかるようになったことがよくあった	64%	26%	9%	1%
11	休み時間に準備とトイレができた	59%	33%	5%	3%
12	聞くときは反応(うなずき、問い返し)をしながら聞いている	50%	40%	8%	3%
13	話すときは聞きやすくわかりやすい話し方をするようにしている	50%	35%	13%	3%
14	べったん、ぴん、ぐーの姿勢を使用と気をつけている	32%	41%	14%	13%
15	最後まであきらめずがんばった	72%	24%	1%	3%
16	なりたい自分(自分の目標)に向かって努力したり工夫したりしている	69%	27%	3%	1%
17	もくもくそうじをしている	63%	31%	5%	1%
18	家や学校、地域で進んであいさつしている	68%	21%	9%	3%
19	自転車に乗るときはヘルメットをかぶっている	82%	9%	3%	6%
20	スマホや携帯ゲーム機、SNSができる機器を夜9時以降親にあずけている	64%	21%	9%	6%

【保護者アンケートの結果】(7月上旬実施)

最高値の枠に色づけ

No	評価内容	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	お子さんは、楽しく学校へ行っていますか	74.7%	24.1%	1.3%	0%
2	お子さんは、その場に合ったあいさつができていますか	40.5%	49.4%	10.1%	0%
3	お子さんは、読み、書き、計算など基礎的な学力が身についていますか	43.0%	46.8%	10.1%	0%
4	お子さんは、家庭学習(学年×10分+10分学習)をしていますか	41.8%	40.5%	16.5%	1.3%
5	お子さんは、毎日音読をしていますか	67.1%	26.6%	6.3%	0%
6	お子さんは、交通安全に気をつけていますか	51.9%	45.6%	2.5%	0%
7	お子さんは、学校であったことを家庭で話していますか	51.9%	38.0%	8.9%	1.3%
8	お子さんは、人にやさしくし、思いやりのある気持ちが育っていると思いますか	45.6%	45.6%	8.9%	0%

9	お子さんは、何事にもチャレンジし、努力する心が育っていますか	34.2%	55.7%	8.9%	1.3%
10	学校は、お子さんの安全や健康に配慮した指導をしていますか	62.0%	38.0%	0%	0%
11	学校は、学力が身につくように努力していますか	69.6%	30.4%	0%	0%
12	学校は、保護者からの相談や要望に適切に対応していますか	62.0%	36.7%	1.3%	0%
13	学校のおたよりやHPなどを通して、学校の様子がよく伝わりますか	60.8%	36.7%	1.3%	1.3%
14	学校は、信頼される学校づくりをしていますか	68.4%	30.4%	1.3%	0%
15	学校はいつでも訪問（授業参観・育友会行事等）しやすい環境ですか	64.6%	34.2%	1.3%	0%
16	家庭では、インターネットやオンラインゲーム等のきまりを守っていますか (機器を持っていない場合は「A」に○)	41.8%	44.3%	12.7%	1.3%

※保護者アンケートは児童1人につき1枚の回答で合計79件

※No8は同値のため2カ所色づけ

【保護者からのご意見要望等】

【学習について】

- ・勉強はあまり好きではないようですが、先生方の指導のおかげで学力は人並みではないかと思えます。
→学校には、日々授業の改善を図り、子どもたちの興味関心を生かして自主的・自発的な学習が進むよう工夫することが求められています。「むずかしくてもなんとかして解いてみよう」「みんなで考えを出し合ってわかったよ」「友達の考えを聞いてより深く考えることができたな」と勉強が楽しく感じられるように職員もがんばっています。ご家庭でもお忙しい中ですが、家庭学習へのご協力をお願いします。
- ・宿題の見直しや字の汚さが改善されません。声をかけるようにしているのですが、学校でも厳しめにお願いします。字が汚すぎて間違っていることが多いです。
→各学級でも日々声かけをしているのですが、きれいな文字・見やすい文字を書けるようにするのはなかなか難しいですね。ゆっくりなら丁寧に書けるのに、追い立てられるように早く雑に書いてしまう子もいれば、鉛筆の持ち方や姿勢などが整っていないために字が整わない子もいます。そもそもまっすぐの線が書けない場合や、正しい書き順を覚えていないために字形がよくないなど、字が汚いにもいろいろな原因があると考えます。その子にあった手立てをすることに加え、「きれいな字が書けるようになりたい」という本人の気持ちがそろうようにしていきたいと思えます。
- ・各種大会等の入賞した児童を、大屋っ子タイムで表彰してあげてください。それを励みに頑張っている子もいます。
→ご意見ありがとうございます。少し日が空いてしまいましたが、頑張った子どもたちへの表彰をしました。これからもお気づきの点は遠慮なくお知らせいただければありがたいです。
- ・授業中に席を離れて先生の手を煩わせる子がいると、他の子の集中力を欠いたり他の子がそんな態度でいいんだと思われたりすることが心配です。支援員の方や他の先生方にその子に対して補助に入ってもらいたいと思えます。
→ご心配をおかけして申し訳ありません。どのクラスにも支援は必要で、支援員と管理職とでできる限り補助に入っています。離席する子にもいろいろな要因があり、叱ったり罰を与えたりすれば解決するものでなく、本人も困りつつコントロールできないている場合もあることをご理解いただけたらと思えます。職員もいろいろな方法を試みているところです。2学期は特別支援教育の地域サポート教員も来校していますので、アドバイスも受けて対処していきます。
- ・授業参観のとき、丸椅子があると助かります。(持病があるので)
→ありがとうございます。準備します。もし場所によって準備されていないところがありましたら、気軽に職員室または近くにいる職員にお声かけください。
- ・休み時間にタブレットを用いて検索していると知ったので家でもなるべく時間を短くしようと思えます。
- ・夜9時には布団に入り寝てしまうのですが、休みの日になるとゲームの時間が長くなるので、短くなるように工夫したいです。
- ・夜9時以降のゲーム機の使用はないのですが、タブレットを使用した学習が終わっていない場合、9時以降

になることがあるので注意していきたいです。

→ありがとうございます。学校でも使い方の指導や生活時間の見直し、ブロックデーの取組などをしてい
ますが、家へ帰ってからの生活にまではなかなか行き届かない部分もありますので、ご家庭で心がけて声か
けていただきとてもありがたいです。これからの社会を生きる子どもたちにとって、ICT機器は今以上
に切り離せないものになるでしょう。便利さと健康な生活との兼ね合いをどうしていくのか、私たち大人
も一緒に学んでいかねばならないですね。

・大屋小学校の児童は素直な子ばかりなので、中学校や高校に行っても、周りに流されず、真っ直ぐに育って
欲しいです。

→おっしゃるとおりです。その願いをそのままの言葉で子どもたちに伝えていきましょう。

・忘れ物が多くてご迷惑をおかけしています。先生方に感謝します。

→忘れ物をしないための自分なりの方法を見つけていくのも大切な勉強のひとつです。学校でもアドバイス
していきます。ご家庭でもいろいろな方法を試してみてください。本人が「これだ!」と思う方法が見つ
かるといいのですが…。

・子どもが「学校好き」と言っているので親としてありがたいです。

→うれしい一言です。これからもいっそう笑顔あふれる楽しい学校になるよう全員で努力し続けます。

・いつもありがとうございます。

→こちらこそ、ご理解とご協力にいつも感謝しております。今後ともよろしく願いいたします。

【学校職員自己評価の結果】(職員11名：7月上旬実施)

最高値の枠に色づけ

No	評価内容	そう思う	どちらかという思う	どちらかという思わない	そう思わない
確	1 基礎基本の確実な習得と定着に努めている	72.7%	27.3%	0%	0%
か	2 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に努めている	63.6%	36.4%	0%	0%
な	3 家庭学習の習慣化と質的向上に努めている	63.6%	36.4%	0%	0%
学	4 言語活動・表現力の充実に努めている	81.8%	18.2%	0%	0%
力	5 前期学力向上プラン「主体的に学び、論理的に表現ができる」に 取り組んでいる	81.8%	18.2%	0%	0%
健 康 な 体 と 心	6 何事にもチャレンジし、努力する心が育つよう、日々の教育活 動の中に意識して取り組んでいる	90.9%	9.1%	0%	0%
	7 規範意識の醸成、道徳教育、人権教育の充実に努めている	90.9%	9.1%	0%	0%
	8 よりよい人間関係づくりと居場所づくりに努めている	75.0%	25.0%	0%	0%
	9 キャリア教育・ボランティア活動推進に努めている	36.4%	63.6%	0%	0%
	10 教科体育の充実、体力・運動能力の向上に努めている	36.4%	54.5%	9.1%	0%
	11 望ましい基本的生活習慣づくりに努めている	90.9%	9.1%	0%	0%
	12 安全教育・防災教育の推進に努めている	90.9%	9.1%	0%	0%
13 教職員としての資質・能力の向上と組織的に機能することに努め ている	100%	0%	0%	0%	
開 か れ	14 「地域の教育力」を生かした教育活動を行っている	36.4%	63.6%	0%	0%
	15 教育活動の情報提供が十分に実施されている	83.3%	16.7%	0%	0%
	16 学校評価による学校経営の改善に努めている	75.0%	25.0%	0%	0%

※上記の表、左端の項目は教育活動の基本方針で、「確かな学力」は『確かな学力の向上』を、「健康な体と心」
は『健康でたくましい体の育成、豊かな心の育成』を、「開かれ」は『開かれた学校づくり』を表しています。

そう思う・あてはまる・そう思う→**A** だいたいそう思う・ややあてはまる・どちらかというと思う→**B**
 あまり思わない・あまりあてはまらない・どちらかというと思わない→**C**
 思わない・あてはまらない・そう思わない→**D** のABCD評価に統一し、その項目の最高割合を評価値とする
 例えば、職員評価No.1「基礎基本の確実な習得…」の「そう思う」が72.7%と最高値なので「A」評価となる

【学校職員自己評価に対する検証値(児童・保護者アンケートの結果)】

	No	学校職員自己評価の内容	記評価	関連児童設問番号とその結果	保護者設問番号とその結果	検証値
確 かな 力	1	基礎基本の確実な習得と定着に努めている	A	No, 1, 2, 3, 4, 5 評価 A A A A A	No, 3, 11 評価 A A	A
	2	協働的な「学び合い」になる授業改善に努めている	A	No, 8, 9, 10, 12, 13 評価 A A A A A	該当質問なし	A
	3	家庭学習の習慣化と質的向上に努めている	A	No, 15, 16 評価 A A	No, 4, 5 評価 A A	A
	4	言語活動・表現力の充実に努めている	A	No, 8, 10, 12, 13 評価 A A A A	No, 5, 7 評価 A A	A
	5	前期学力向上プラン「主体的に学び、論理的に表現ができる」に取り組んでいる	A	No, 8, 9, 12, 13 評価 A A A A	該当質問なし	A
健 康 健 康 な 体 と 心	6	何事にもチャレンジし、努力する心が育つよう、日々の教育活動の中に意識して取り組んでいる。	A	No, 15, 16, 17 評価 A A A	No, 9 評価 B	A
	7	規範意識の醸成、道徳教育、人権教育の充実を図っている	A	No, 7, 18 評価 A A	No, 2, 8 評価 A AB	A
	8	よりよい人間関係づくりに努めている	B	No, 7, 18 評価 A A	No, 1, 8 評価 A AB	A
	9	キャリア教育・ボランティア活動推進に努めている	B	No, 16, 17 評価 A A	該当質問なし	A
	10	教科体育の充実、体力・運動能力の向上に努めている	A	No, 6, 15, 16 評価 A A A	No, 10 評価 A	A
	11	望ましい基本的生活習慣づくりに努めている	A	No, 18, 20 評価 A A	No, 10, 16 評価 A B	A
	12	安全教育・防災教育の推進に努めている	A	No, 19, 20 評価 A A	No, 6, 10, 16 評価 A A B	A
	13	教職員としての資質・能力の向上と組織的に機能することに努めている	A	No, 2, 11, 14 評価 A A B	No, 11, 14 評価 A A	A
開 か れ た	14	「地域の教育力」を生かした教育活動を行っている	B	該当質問なし	No, 15 評価 A	A
	15	教育活動の情報提供が十分に実施されている	A	該当質問なし	No, 13, 15 評価 A A	A
	16	学校評価による学校経営の改善に努めている	A	該当質問なし	No, 12, 14 評価 A A	A

【令和5年度 学校評価書(中間)】

	No	評価項目	自己評価	検証値	分析と対策等	学校評価
確 かな 学	1	基礎基本の確実な習得と定着に努めている	A	A	・授業の基本的な流れを共通理解した上で実戦に臨んでいる。授業や家庭学習の中で達成度を見取り、次の活動に生かすようにしている。毎週火曜日はEnglish dayとして英語にふれる機会を設定している。	A
	2	個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に努めている。	A	A	・クラス全体で学び合い確認した後に、自分で問題に取り組む場を設定している。また、授業の終わりには、一人一人ができたかどうかを見取り、個別に支援を行っている。	B
	3	家庭学習の習慣化と質的向上に努めている	A	A	・家庭学習の内容を国語・算数・音読・PUノート(週3回以上)と基本線を決め、毎日の点検をかかさず行うことで、その通り実施	A

力				することができた。例年、課題となっていたPUノートに意欲的に取り組む児童が増えてきて、その内容も充実しつつある。		
	4	言語活動・表現力の充実に努めている	A	A	・音読は定着してきた。目的を持って音読することが今後の課題である。行事作文では、各学年のめあてに沿って表現するよう指導している。小中連絡会で、自分の思いや考えを表現する場を設けることを共通実践とし、授業の中に取り入れている。	A
	5	・前期学力向上プランの目標「主体的に学び、論理的に表現ができる」に取り組んでいる。	A	A	・「求める表現の共有、協働学習の後、個人思考」の授業の流れは定着してきている。授業に対し受け身の児童が見られるため、ひらめきボードを出すタイミングなどを工夫し、どの方法で問題を解決するか意思決定ができるようにしていく。	A
健康な体と心 健康な心と体	6	・何事にもチャレンジし努力する心が育つよう、日々の教育活動の中に意識して取り組んでいる。	A	A	・子どもたちの活動や取組について、その努力や成果、結果について評価し、様々な形で讃える場を設けていく。子どもたちが「またやってみよう」「次は頑張ろう」と思えるような心を育てる支援をしていく。	A
	7	規範意識の醸成、道徳教育、人権教育の充実を図っている	A	A	・道徳の授業改善に向けて板書ツアーを実施し、構造的な板書の書き方や中心発問の仕方などについて、意図的に授業に取り組めるように研修した。手本となるような挨拶ができる児童が増えてきた。今後も評価して価値づけていく。いじめ防止基本方針の見直しと修正を行い、全職員による共通理解の会を実施した。	A
		よりよい人間関係づくりと居場所づくりに努めている。	A	A	・生徒指導の4つの視点を生かした学習指導及び学級経営をより充実させていくために、Q-Uアンケートの結果を基に研修を実施した。縦割り班活動である「大屋オリンピック2023」に取り組み、体育的活動を通して、異学年の交流を実施していく。	A
	9	キャリア教育・ボランティア活動推進に努めている	B	A	・キャリアパスポートを活用し、学校行事等の様々な活動に対して目標を決め、達成できるように意識付けしている。ボランティア活動については、2学期以降に行っていく。また、幼保小中との連携を行い、小中では共通課題に対して具体的な方策を協議し実践している。	A
	10	教科体育の充実、体力・運動能力の向上に努めている	B	A	・授業や学校行事、各種大会への参加などにおいて、運動・スポーツに対する児童の意欲を高めている。今後は体育の授業に消極的な児童に寄り添いながら、日々の授業改善に取り組んでいく。	A
	11	望ましい基本的生活習慣づくりに努めている	A	A	・学期中の「パワーアップカード」と長期休業中の「生活カレンダー」の取組を行っている。その結果の共有や有効活動について校内委員会で協議していく。また、ほっとネット大作戦や歯磨き、給食指導など具体的な指導を通して、望ましい生活習慣ができるようにしていく。	A
	12	安全教育・防災教育の推進に努めている	A	A	・玄関前と運動場に向けた防犯カメラ、玄関の施錠管理の徹底、民生・児童委員や公民館ボランティアと育友会による街頭指導、育友会安全委員会の安全マップ作成など、子どもたちを見守る体制が整えられている。各種避難訓練では単なるシミュレーションで終わらず、模擬体験ができる活動を行っていく。	A
	13	教職員としての資質・能力の向上と組織的に機能することに努めている	A	A	・教職員の研修は年間計画を立て実施している。日常的に「報連相」を行っている。一人の教職員が抱え込むことのないよう、複数の体制で業務にあたるようにしている。	B
開かれた学校づくり	14	「地域の教育力」を生かした教育活動を行っている	B	A	・職員の評価が高くないのは、ゲストティーチャーを外部から招いて活動を行うなどの実績が少ないからだと考えられる。しかし、保護者(育友会)も重要な地域の教育者であることを認識し、今後の親子行事や授業参観に臨んでいく。小中の連携活動は行われているので、その内容を共有化していく必要がある。	A
	15	教育活動の情報提供が十分に実施されている	A	A	・昨年度の評価を受けて、意識して学校HPの更新を行うとともに、学校だより、学級だよりの発行を行っている。また、今年からSNSを通したお便りの発信も始まり、保護者の皆様に満足していただいていると思われる。継続して、積極的な発信をしていく。	A
	16	学校評価による学校経営の改善に努めている	A	A	・保護者アンケートのD評価の数値が、昨年同期と比べて半減し、ほぼ「0」に等しい結果をいただいた。これまでの改善や努力の成果ととらえ、これを励みとしますますます精進していく。	A

【総評】

- 保護者のアンケートにもあるように、大屋の子どもたちは本当に素直で言うことを聞いてくれる子どもが多い。公民館の通学合宿で活動しているとき、それを見ていた外部関係者がいい子たちだと 言っていた。
- 一人一人を見て、より充実した指導をお願いしたい。おとなしい子には自己表現ができるよう個別の指導をして欲しいし、そうでない子はもう少し厳しい指導を願う。
- 全体学習の中で、学習規律を守るよう厳しい指導をして欲しい。また、元気な子とおとなしい子の差があるので、おとなしい子へ目を向けて個に応じたきめ細やかな指導をして欲しい。
- 1時間の授業が終わったら、その内容はそのままなのか。「わからない」と子どもが先生に訴えることができるような関係はできているのか。理解できなかつた子への指導はどうしているのか。
→休み時間・放課後の時間を使って、個別の指導をしている。また、習ったことはその日の宿題に出し、個別の理解度を把握して積み残しがないように心がけている。
- 生活リズムチェックのような取組は効果があるのか。
→学びの土台は健全な生活リズムにあるととらえ、調査結果をもとに個別の指導を行っている。これがあることで意識できる児童もいるので全くやらないより効果があると考えている。
- 先生方が休憩時間を削って子どもの指導に当たり、保護者の要望に答えている姿が分かり、どちらの思いも伝わり心苦しい。保護者も長い目で子どもの成長を見て欲しい。

今後に向けた取組の改善策

【確かな学力の向上】

- 個別の定着度合いを的確に捉え、個別の指導や補修等を行い、確かな学びになるよう努めていく。また、全員が学びやすい環境作りのために、学習規律が守られる学級経営に努める。

【健康でたくましい体の育成・豊かな心の育成】

- 素直で明るい子どもたちの今の姿を大切にし、一人一人が自分の思いを的確に表現できる力を育てていく。そのために、「話す・きく」のトレーニングをスキルアップの時間に継続して取り組んでいく。

【開かれた学校づくり】

- 保護者に向けては、SNSを通しタイムリーな情報や子どもたちの様子を伝えることができるようになった。また、確実に保護者に届くので、内容の確認や問い合わせがなくなった。情報提供だけでなく、いつでも来校が可能な体制を整えたり、保護者や地域の方から様々な情報が提供されたりしやすい雰囲気作りに努めていく。

お忙しい中、アンケートへの回答と貴重なご意見をありがとうございました。また、評価委員会のみなさまには建設的なご意見、また、職員へのねぎらいと励ましもいただきました。ありがとうございました。改善策に基づき、期末評価に向けて、職員一同努力していきます。今後とも、よりよい学校づくりのために、日々気付かれたことがありましたらご意見をお聞かせください。ご理解ご協力をお願いいたします。